

主日の福音から黙想のヒント

皇帝への税金 (マタイ 22・15-21)

この世の権力を象徴する銀貨には人間の肖像と銘が刻まれ、人の心には神の肖像と銘が刻まれている。
人は皆、神のかたどり。この驚く真実が知られるように。

外国から来られた兄弟姉妹と共に

福岡教区の統計を見ますと、信徒数の減少に気づきます。最後の二年間の数字は、もっと丁寧に調べなければならないでしょうが(編注: 2018、2019 の増加は居所不明者の換算方法の変更による)、全体的な流れは減少です。しかし、外国人の信徒数は正確には把握できていませんが増加していることは確かです(減少数よりも増加数の方が多い)。つまり、外国から来ている信徒たちとの交わり、協力、協働が欠かせません。具体的な取り組みを始めていかねばなりません。外国から来ている信徒は、わたしたちの共同体に、様々な賜物を持ってきてくださいます。その中の多くは若い人々で、高齢化しているわたしたちの小教区、委員会、活動グループに、希望と新たな力を吹き込むのです。とてもありがたいことです。彼らを温かく迎え、お客様としてではなく、同じ共同体のメンバーとして受け入れねばなりません。そのとき、はじめて積極的な協力体制が生まれます。日本の社会に対しても、国を超えた共同体である教会には、違いは、恐れではなく豊かさをもたらすものであるということを証しする使命があります。福音は人と人、グループとグループ、国と国を結ぶ力を持っています。大事な「神の国」の証しです。

ヨゼフ・アベイヤ司教

作成: 福岡教区養成教化・生活聖化委員会



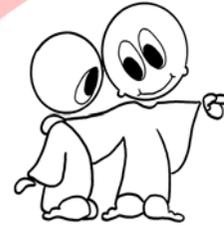
「わたしを遣わして下さい」

10月 宣教の月

第3日曜日 2020年10月18日

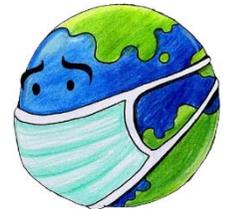
世界宣教の日

祈り、犠牲、献金



皆が派遣されている

「このパンデミックのとき、…ソーシャルディスタンスや在宅が要請される中で、わたしたちは社会的なかわりだけでなく、共同体としての神とのかわりも必要としていることを再認識するよう招かれています。こうした事態によって促されるのは、不信感や無関心を増幅することなどではなく、他者とのかわり方にこれまで以上に心を配ることであるべきです。また、祈り—その中で神はわたしたちの心に触れ、働きかけておられます—を通して、わたしたちの心は、兄弟姉妹が求める愛と尊厳と自由へ、すべての被造物の保護へと開かれます。感謝の祭儀を祝うために教会として集うことができなくなったことで、わたしたちは、主日ごとにミサを行えない多くのキリスト教共同体の境遇に触れることができました。こうした状況の中で、神は再びわたしたちに問いかけておられます。『だれを遣わすべきか』。そして、物惜しみしない確信に満ちたこたえを待っておられます。『わたしがここにおります。わたしを遣わして下さい』(イザヤ6・8)。神は、ご自分の愛と、罪と死からの救いと、悪からの解放をあかしするために、世界と諸国民のもとに遣わす人を探し続けておられます」



(2020「世界宣教の日」の教皇メッセージから。)

福岡教区の統計を考える



年 度	司 教	教 区 司 祭		修 ・ 宣 司 祭		他 教 区 司 祭		修 道 者	信 徒 総 数	男 性	女 性	合 計
		日 本	外 国	日 本	外 国							
2000	2	36		18	39	2	422	13,420	17,821	31,241		
2001	2	37		17	38	4	416	13,309	17,858	31,167		
2002	2	32	1	18	36	2	416	13,446	17,895	31,341		
2003	2	33		18	35	4	417	13,267	17,803	31,070		
2004	2	36		17	31	3	395	13,147	17,899	31,046		
2005	2	32		18	33	4	393	13,048	17,712	30,760		
2006	1	32		16	28	4	379	12,972	17,593	30,565		
2007	-	31		20	27	3	370	13,035	17,733	30,768		
2008	1	32		19	24	5	363	13,118	17,668	30,786		
2009	1	33		16	28	5	363	12,829	17,395	30,224		
2010	1	31		25	31	8	361	12,722	17,176	29,898		
2011	1	32		21	27	11	362	12,729	17,256	29,985		
2012	1	31		20	29	7	352	12,507	17,122	29,629		
2013	1	31		18	30	6	331	12,391	16,892	29,283		
2014	1	28		23	23	5	315	12,337	16,993	29,270		
2015	1	28	1	22	25	7	316	12,381	17,006	29,387		
2016	1	28	1	17	29	7	311	12,235	16,814	29,049		
2017	1	27	3	16	27	8	297	12,270	16,805	29,075		
2018	1	27	2	13	24	9	286	12,628	17,201	29,829		
2019	1	26	2	10	22	8	279	12,588	17,236	29,824		

- ✓ この統計には、福岡教区にいる外国から来られた信徒の数は入っていません。
- ✓ 高齢化の現実を考えると厳しい統計になります、特に司祭や修道者の場合。

祈り



母なるおとめマリアよ、
あなたは聖霊に促され、いのちのことばを
その謙虚な信仰の奥底に受け入れ、
永遠なる方にご自分を完全にゆだねられました。
わたしたちも「はい」と言えるように助けてください。
急を要し、かつてないほど迫切しています。
イエスのよい知らせを響かせることが。

新しい福音宣教の星よ、
あかしをもって輝くことができるよう助けてください。
交わり、奉仕、熱く惜しみない信仰、
正義、貧しい者への愛、そのあかしで。
福音の喜びを地の果てにまで届けるために。
そしてだれも、その光の届かない隅にいることのないように。
いのちをもたらず福音の母よ、
小さき者の喜びの泉よ、
わたしたちのために祈ってください。
アーメン。

(教皇フランシスコの『福音の喜び』から)

振り返り



- 1.現代社会の中で福音を伝えるには、何が大事でしょうか。
- 2.福岡教区が、福音宣教する教区として成長するために、何が求められているのでしょうか。
- 3.あなた自身の小教区が、より積極的に福音宣教に取り組むために、何が求められているのでしょうか。

自分で祈りのうちに考えてみてください。
また、何人かで話し合ってみれば、とてもいいです。